

誰も聞いたことがない経済の真実

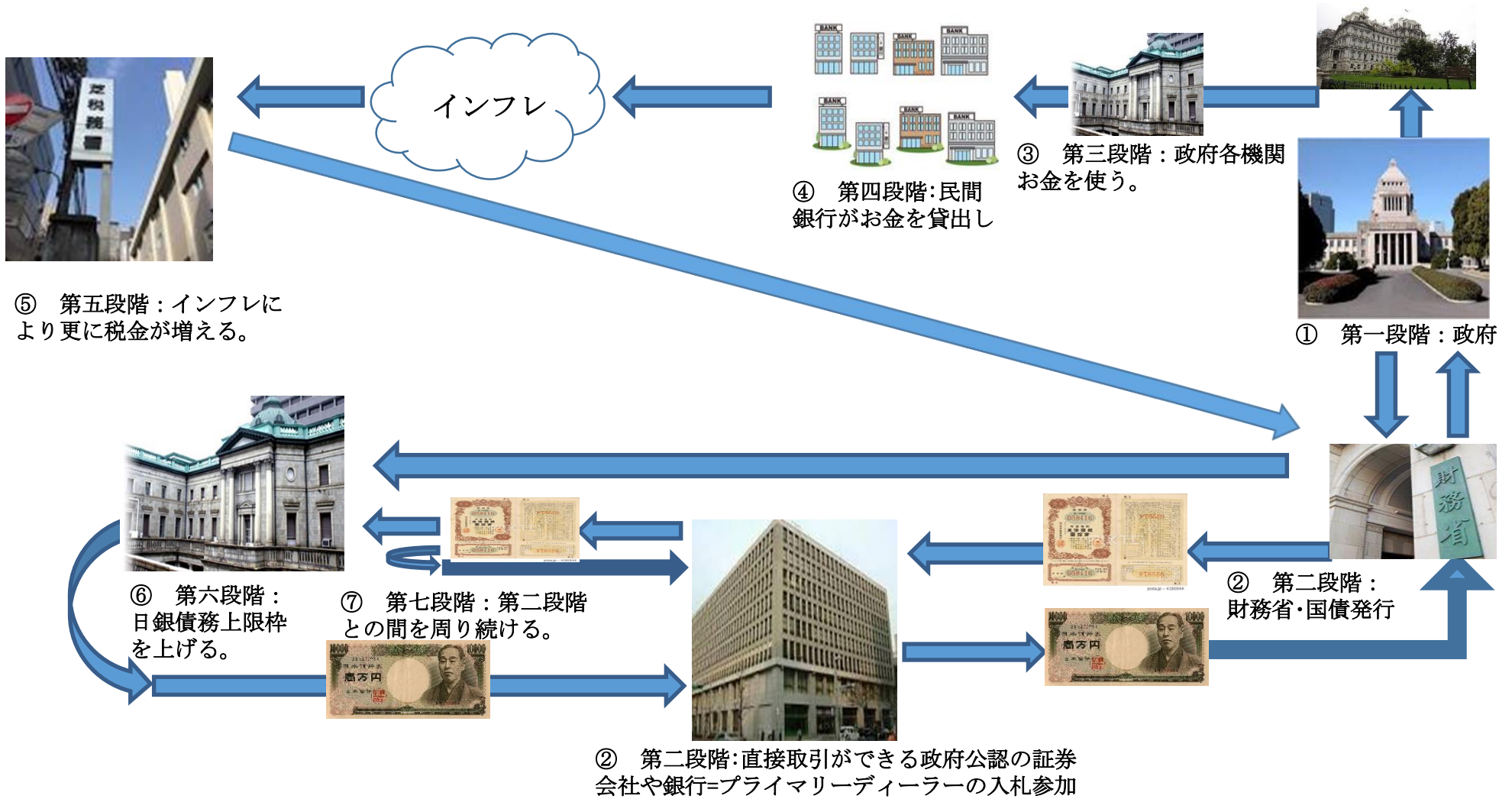
講座7

絶対に理解すべき重要なこと

目加田 明仁

現代のお札の生まれる仕組み

全体の流れ



歴史上、最大の詐欺・スキーム

第一段階

政府



① 国債の発行依頼

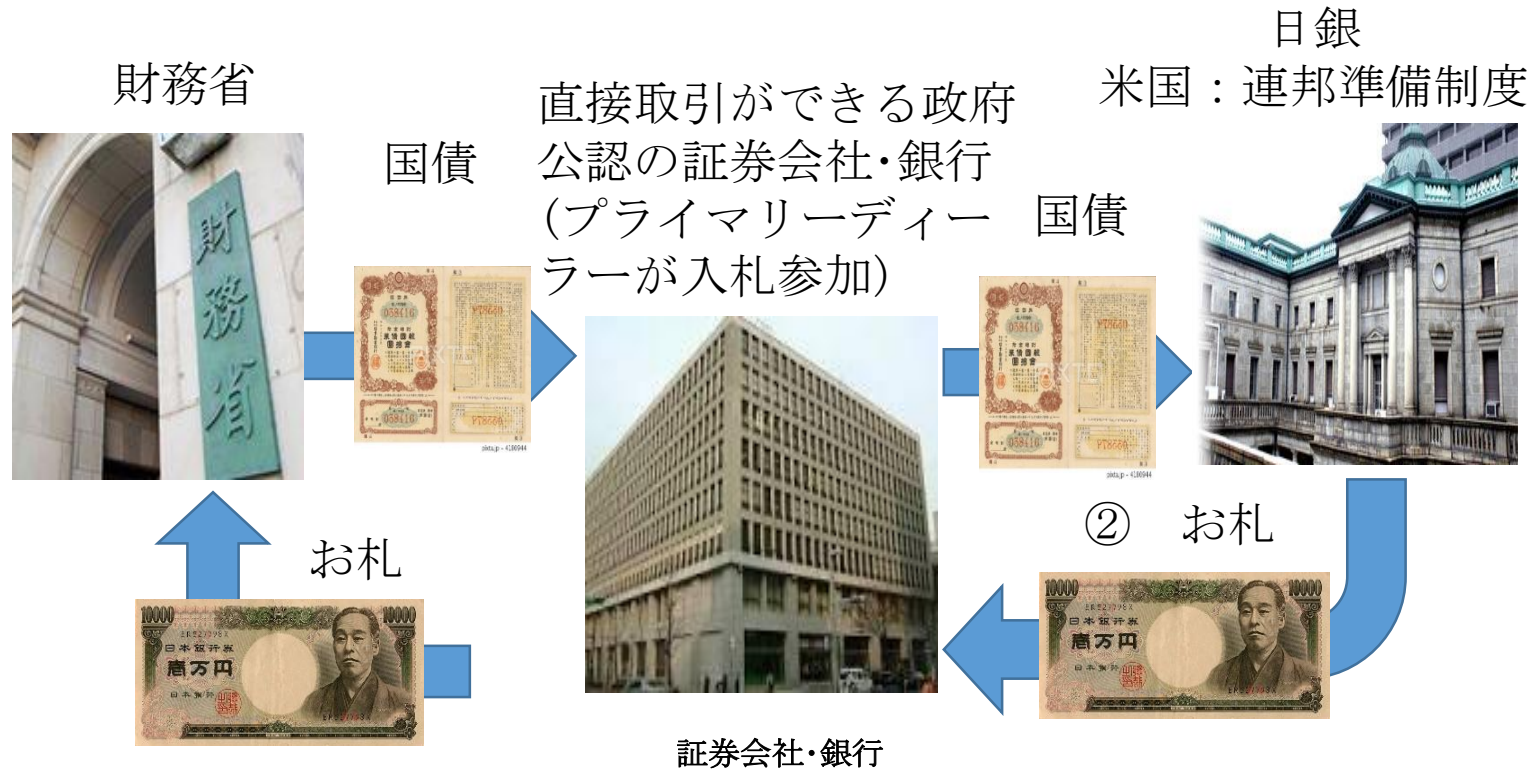


財務省



1. 政府は価値の創造が全く出来ないが政治家・政府はお金が必要。
2. 財務省に国債=将来の借金の発行を依頼。

◎ 第二段階



1. 国債は入札にかけられ、直接取引ができる政府公認の証券会社・大手銀行(プライマリーディーラー)が入札に応じる。
2. プライマリーディーラーは購入した国債を日銀(米国：連邦準備制度理事会)に利益を乗せて売却。
3. プライマリーディーラーから売却された国債を元に日銀(米国：連邦準備制度理事会)は引換券=お札を発行。裏付けも何もない中からお札が生まれることになる。

第三段階

日銀

米国：連邦準備制度理事会



お札

お札



政府機関
公共事業



福祉



戦争



第四段階



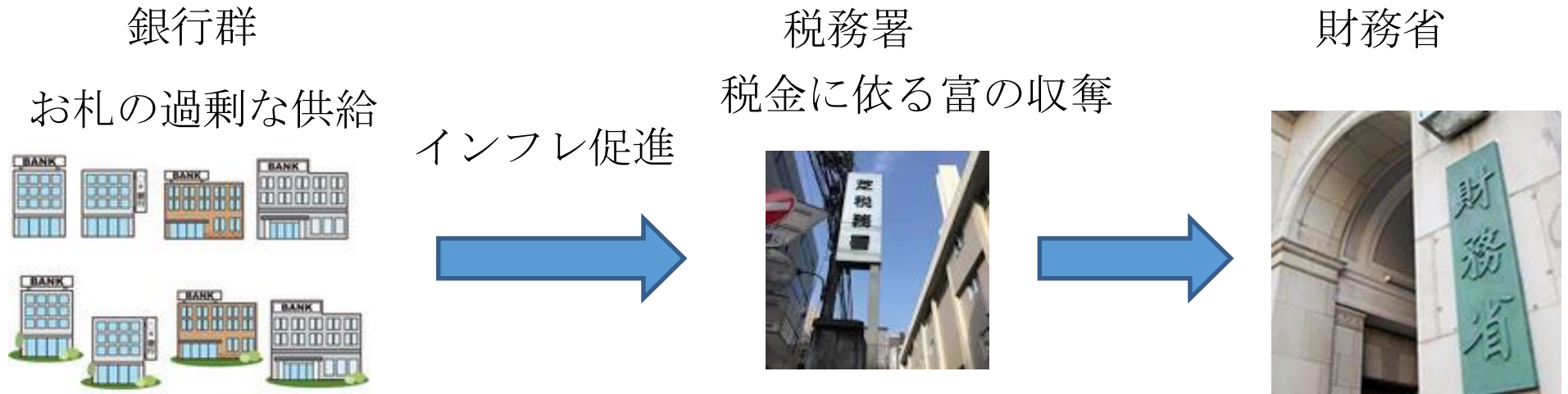
1. 政府の各機関で使われたお札は銀行に預けられる。
2. 銀行に預けられた預金は法定準備率に応じ、お金を作り出し貸し出すことが出来る。

法定準備率とは? : 法定準備率10%として預金の10%/100%=10倍までのお金を法律上、銀行は貸し出すことが出来る。

例：100万円の預金に対し10倍の1,000万円まで、貸出可能・これをM2と言う。

日本の準備率：0.05～1.3%前後。

第五段階



1. 税金で回収された富は国債の返済に充てられる。
2. 米国：連邦準備制度理事会が1913年12月23日に設立される以前は個人所得税はなかった。

第六段階

財務省



日本：日銀
米国：連邦準備制度理事



財務省は徴収された税金の大半を国債の返還に充当。

第七段階

財務省



銀行



1. 日本・日銀：1882年に設立。出資者：55%・政府、45%・民間。
5%配当。
米国・連邦準備制度理事会。出資者：100%民間銀行。6%配当。
2. 利益：国債の売買益+準備率に依る利益+配当。
⇒国民の経済を大きく左右する出資者が民間企業で利益を得る
壮大なインチキ。